

# 見直してみませんか？ あなたの家庭教育



福岡県教育委員会では、平成12年度に4・5歳児をもつ父親・母親を対象に、平成13年度には小学生を持つ父親・母親を対象に、平成14年度には、中学生の父親・母親を対象に養育態度・意識の実態調査および中学生を対象に意識・行動の実態調査を実施しました。

この実態調査をもとに、それぞれの段階での親、中学生の意識・行動の実態を改めてダイジェストとしてまとめてみましたので、これからの家庭教育を考えるヒントにしてください。

※ 一部、広島県教育委員会の調査結果を参考に掲載しています。  
 詳細について知りたい方は、下記までお問い合わせください。

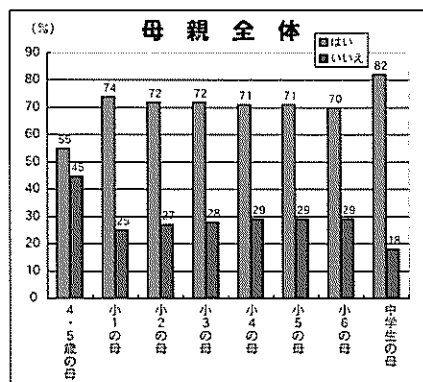
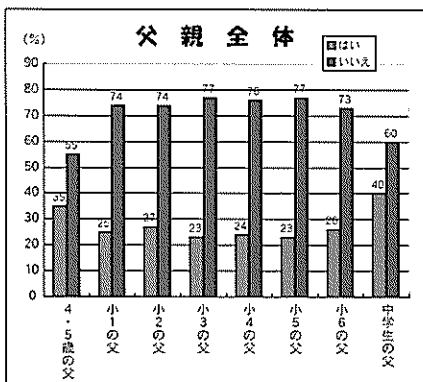
編集/発行：福岡県立社会教育総合センター  
 糟屋郡篠栗町大字金出3350-2  
 TEL 092-947-3511 FAX 092-947-8029



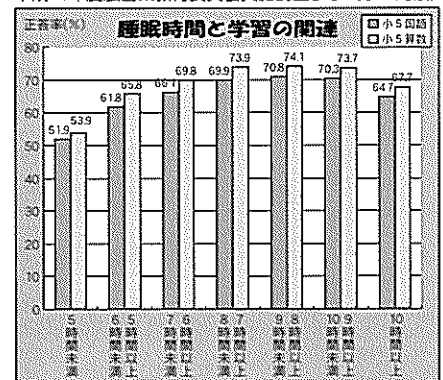
## 基本的な生活習慣



あなたは、朝、子どもを起こしていますか



参考資料1  
 平成15年度広島県教育委員会実施調査より (小5対象)



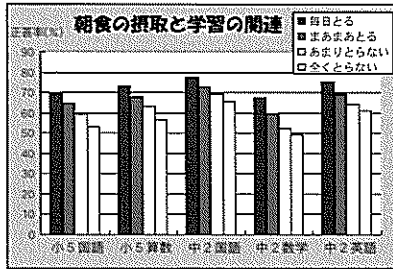
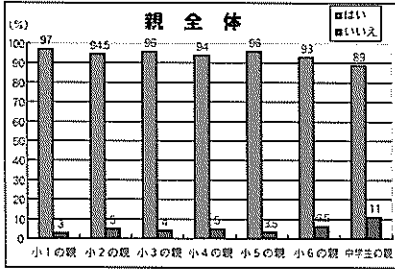
年齢が上がるにつれて、子どもを起こす割合が高くなっていくことがうかがえます。自分で起床する習慣は「自立のベース」になる点から、子どもに自分で起床する習慣を定着させることが必要です。子どもが自分で起床できるためには、まず子どもに十分な睡眠時間をとらせることが大切です。

また、広島県教育委員会が実施した小学校5年生を対象に行った調査では、睡眠時間をしっかりとっている子どもほど基礎学力の定着度や運動能力が高いことがわかりました。(参考資料1参照)

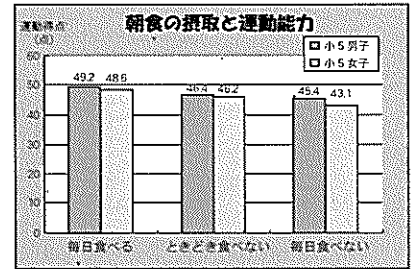
これらのことから、生活習慣と子どもの成長には強い相関関係があることがわかります。子どもの年齢に応じた睡眠時間をしっかりとらせ、自分で起床することができるよう、子ども中心の生活リズムになっているか、見直してみましょう。

## 子どもに朝食を食べさせていますか

参考資料 2  
平成15年度広島県教育委員会実施調査より



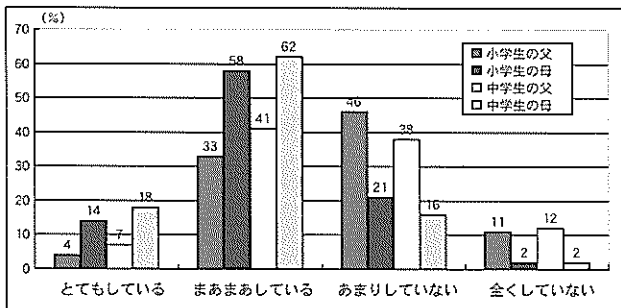
参考資料 3  
平成15年度広島県教育委員会実施調査より



朝食は、1日のスタートを切る、活力源です。しかしながら、小学校1年生から朝食を食べない子どもが3%います。しかも、年齢が進むにつれ、ますます増加しています。現在叫ばれている食育の観点からも、子どもたちの健康面や心理面、学校での活動等への様々な影響が心配されます。広島県教育委員会が平成15年度に実施した調査からは、朝食を毎日食べる子どものほうが朝食を食べない子どもよりも正答率が上回り、朝食と学習との関連性が確認されました。子どもの活動を充実するためにもまずは朝食を食べさせることが大切です。



## 子どもの身の回りの世話をしている方だと思いますか

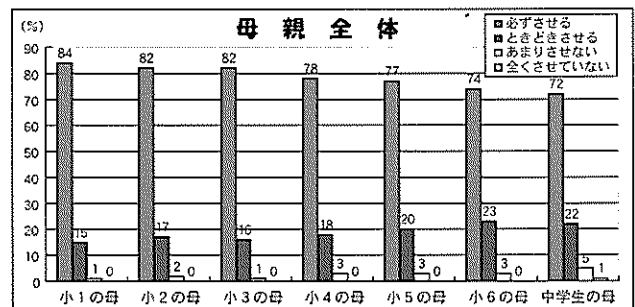
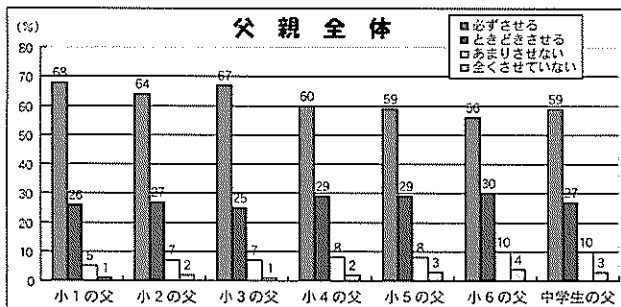


子どもの成長に応じた親子の関わり方が今問われています。(過保護・過干渉～放任まで)

子どもに関わっていくという親の姿勢は評価できますが、子どもの主体性や自立する力を育てる上で、必要な援助か、そうでない援助かをきちんと見極めることが大切です。



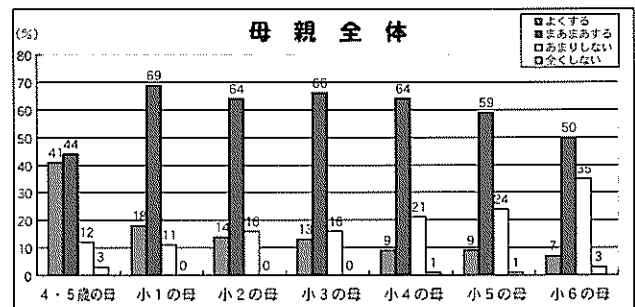
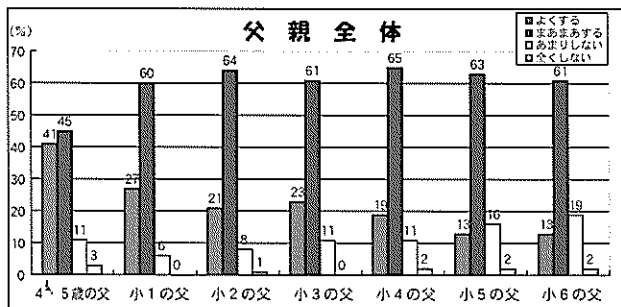
## あなたは子どもにあいさつをさせていますか



あいさつは、コミュニケーションや人間関係をつくる上で、非常に大切な役割を果たしています。子どもだけにあいさつをさせるのではなく、大人の側からも声をかけるなど、明るく元気なあいさつのできる子どもに育てましょう。

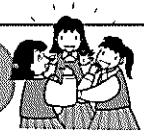
## 親子の交流・ふれあい

### 子どもの遊び相手をしてあげることがあります

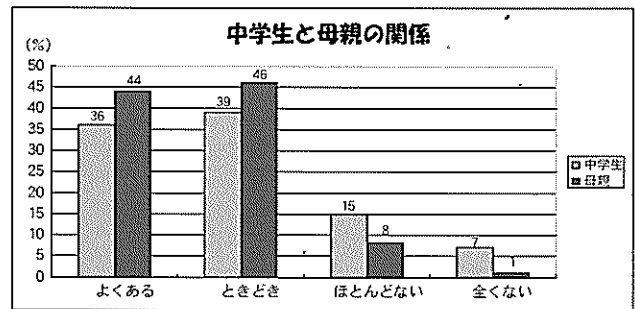
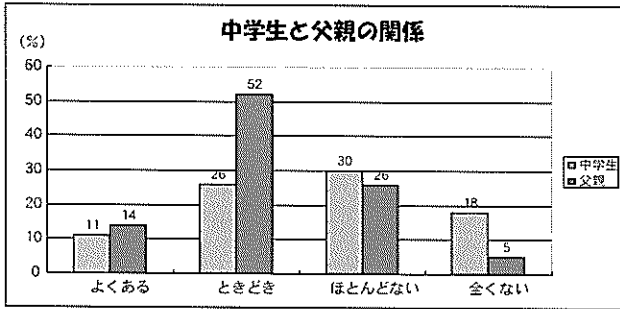


子どもの遊び相手をしてあげる機会は子どもの成長とともに減少しています。4・5歳児の段階においても、「遊び相手がありません」とこたえた保護者がおよそ15%います。幼い頃からの遊びをとおした親子のふれあいは、家族の絆や信頼関係を深める上からもとても重要なことです。もう一度、自分の家庭をみなおしてみませんか。

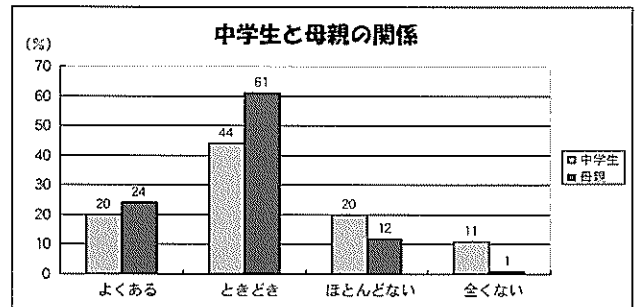
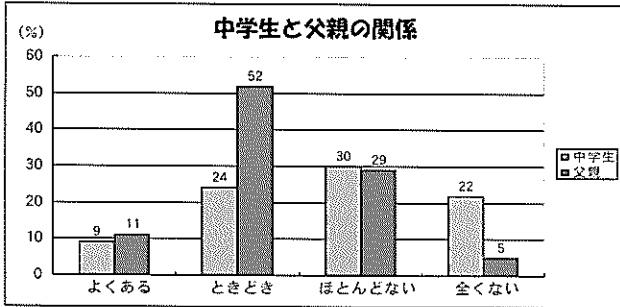
# 思春期における親子の関係(中学生)



## 家族の人と学校生活について話すことができますか



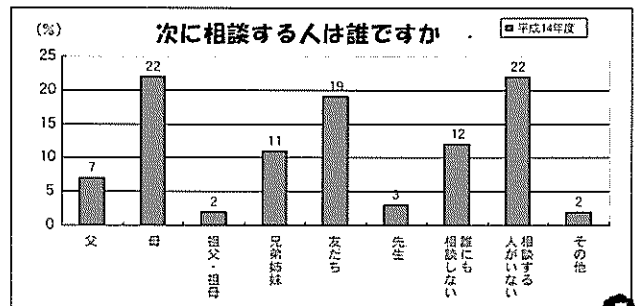
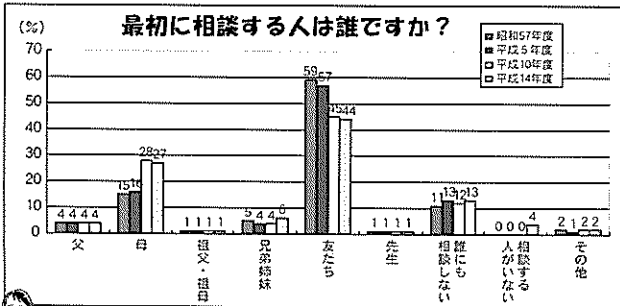
## 家族の人と将来の人生のことについて話すことができますか



中学生の意識と父親の意識にはズレがみられます。父親は子どもと話しているつもりでも、子どもたちには父親の存在は遠いようです。父親と母親が協力して、この差をうめていくことが大切です。



## 困っていることや悩みを誰に相談しますか(中学生に質問)



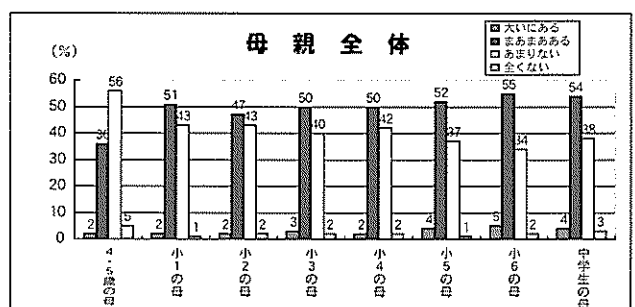
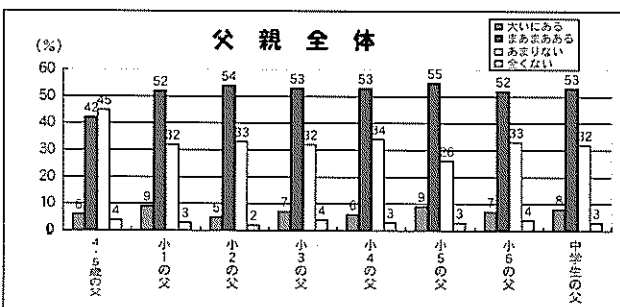
中学生が1番に相談する相手として選んだのは「友人」「母親」「誰にも相談しない」という順でした。その次に相談するのは「母親」「相談する人がいない」「友だち」の順でした。調査実施年ごとにみても、友人を選ぶ割合は減少傾向にあるのに対して、母親を選ぶ割合は増加しています。しかしながら、「誰にも相談しない」、「相談する人がいない」と答えた割合が増加しているなど、一人で悩みを抱え込んでいる実態もあります。

親自身が相談相手となってやるとともに、解決の方法を子どもたちにしっかり教えていくことも大切です。



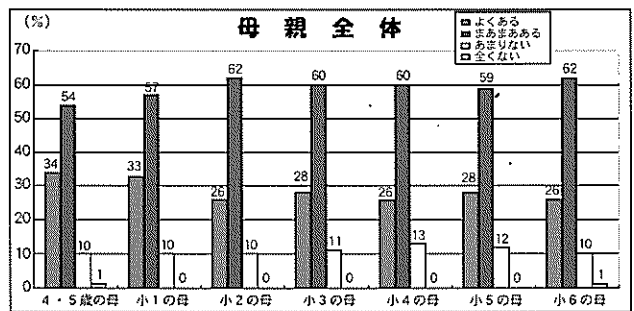
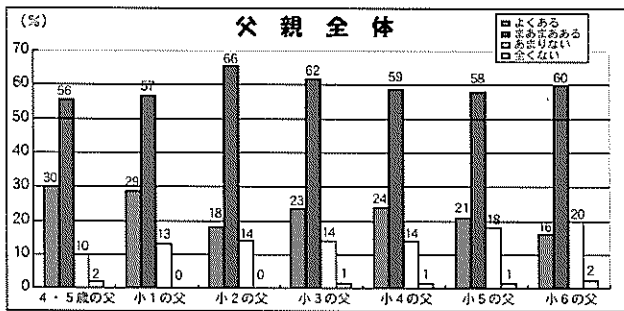
# しつけ・子育てについて

## あなたはお子さんのしつけに自信がありますか



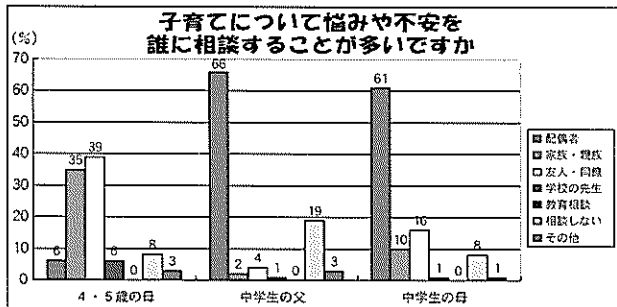
父親・母親ともに低年齢になるほど自信がないことがよみとれます。4・5歳児では父親、母親ともにほぼ半数が不安や悩みを抱えているようです。特に、子どもと過ごす時間が長い母親の方が、自信度が低くなっており、子どもへの対応やしつけなどへの不安がうかがえます。

## あなたは子育てが楽しいと思うことがありますか

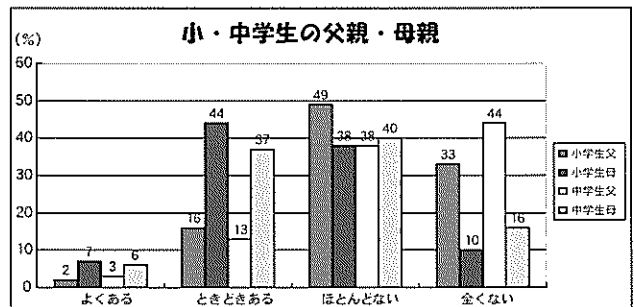


子育てを「全く楽しいと感じたことがない」とこたえた親が1~2%、「あまり楽しくない」とこたえた親が10~20%います。この調査からも子育てに悩んだり不安を持ったたりしている現状がうかがえます。

### 子育てについて悩みを誰に相談することが多いですか



### しつけについての本を読んだり、テレビ番組を見たり、講演会に行ったりすることがありますか



4・5歳児の母親の相談相手は、友人、家族・親戚の順で、74%を占めています。相談相手に子育てをともに行っている「配偶者」と答えた母親はわずか6%にすぎず、これは「全く相談しない」と答えた8%よりも低い回答率です。このことから、4・5歳児においては母親一人で子育ての不安や悩みを抱え込んでいる現状がうかがえます。中学生の保護者では、60%以上の父親・母親ともに相談相手として「配偶者」を選んでいることから、子どもの成長とともに、夫婦間での協働・支え合いが高まっていることがうかがえます。しかしながら、誰にも相談しないとこたえた保護者は、父親で19%、母親で8%いることから悩みや不安を一人で抱え込んでいる保護者の実態もうかがえます。

また、しつけや子育てに関する本やテレビ番組、講演会に接する機会をほぼ半数以上の保護者が活用していないことがわかります。子育てに関して決して一人で悩まず、様々な機会を活用したり、地域や学校での行事等に参加したり、子育てサークルなどに参加したりしながら、世代や立場をこえて学びあうことも大切です。

## これからの子育てで実行したいこと

### 基本的な生活習慣を育てましょう

- 早寝早起き、毎日朝食をとることなどの基本的な生活習慣や生活リズムを身につけさせましょう。そのためには、大人の生活リズムとは別に、子どもの年齢や成長に応じた生活リズムで生活させることが大切です。
- 「おはよう」「おやすみ」といったあいさつを親の方からも明るく笑顔でかけてみましょう。
- 子どもが自立するためには、子ども自身に任せたり、役割を持たせたりすることも大切です。家での仕事や手伝いを決めたり、自分でできることは子どもに任せたりしながら、サイドから見守ってみましょう。



### もっと子どもとの会話やふれあいをもちましょう

- 本の読み聞かせなどは親子のふれあいや対話が増え、信頼感が強まります。
- 友達のことや学校でのこと、家でのことなど、子どもが話しかけてきたことをしっかり聞いてあげましょう。
- 子どものよい面を見つけて、声に出してほめてあげることは、子どもに自信を持たせるとともに、自分の存在感を確認させ、安心感や充足感を味わわせることができます。



### 夫婦で、家族で「家庭での教育・しつけ」について話しあいましょう

- 子育ては母親または父親一人だけが担うものではありません。子どもを中心に据えて、夫婦や家族がともに、教育やしつけについて話し合うことが大切です。

### 親自身が地域や学校に参画しましょう

- 人間関係が薄くなっている今、子どもたちには多様な人たちと関わっていくことが求められています。子どもだけでなく、親自身が地域や学校と関わりながら、世代や立場をこえて子育てについて考えていきましょう。
- 今、各地で子育てを支援してくれる子育てサークルや団体、子育てアドバイザーの活動が活発になっています。子育てに関して様々なサポートが提供されていますので、まずは気軽に活動の様子をのぞいてみましょう。

